

久慈農業改良普及センターだより



普及センター情報 241号
平成30年4月20日発行
久慈農業改良普及センター
TEL: 0194-53-4989
FAX: 0194-53-5009

新年度を迎えて ～ 所長あいさつ ～

東日本大震災津波から7年が経過しました。県では、第3期復興実施計画に基づき、被災者一人ひとりに寄り沿った復興を成し遂げるべく、三陸のより良い復興「三陸復興・創造」を大きく前進させていきます。

また、ふるさと振興にも全力で取り組んでいくこととしており、農業分野においても、本県の基幹産業として、生産性・収益性の高い農業の実現に向けた取組を展開して参ります。

いよいよ農作業も本格化し、田んぼも畑も賑やかになってきました。昨年は、8月の低温日照不足等の影響で、米をはじめ農産物の生産に大変苦労された方も多いと思いますが、今年は、これまで以上に稔り豊かな年にしたいものです。

私どもの最終的な業務目標は、何はともあれ生産者の皆さんの収益アップ、そして地域を元気にすること。このため、普及センターでは、平成30年度を最終年度とした以下に掲げる普及計画を策定し、農業に関する技術の普及や経営相談、情報提供などを通じて経営発展や地域活性化の取組を支援して参ります。

また、県では本年度、平成31年度からの10年間を計画期間とする次の総合計画を策定します。キーワードは「幸福」。県民の幸福度を高めるため、岩手が持つ多様な豊かさやつながりなどにも着目し、長期的な視点に立って岩手の将来像を描いていきます。将来、誰もが「農業をやって良かった」、「ここに住んで良かった」と「幸福」を実感できる農業・農村社会を皆さんで築き上げていきましょう！



所長 なかむら 中村 よしみつ 善光

普及計画

- 1 新規就農者の育成
- 2 認定農業者等の経営改善支援
- 3 水田農業を担う農業法人の育成
- 4 地域協働支援活動によるほうれんそう産地づくり
- 5 ほうれんそうの生産拡大
- 6 大家畜経営の安定
- 7 新規起業者の確保・育成
- 8 産地直売所活動の活性化
- 9 食文化を活かした地域活性化



普及センターでは、今回の人事異動により、新採用を含む2名が加わり、若手からベテランまで16名の職員が、それぞれフレッシュな気持ちで普及活動を展開しています。

1年間どうぞよろしくお願いいたします（活動体制は次のページを参照願います）。






平成30年度 久慈農業改良普及センター活動体制



今年度は16名体制で、①意欲ある担い手の育成、②主要品目の産地力強化、③農村の活性化支援を活動の3本柱に据え、地域に密着した活動を基本として農業者を支援して参ります。

【 職員分担 】※(新)：転入

<p>マネジメントグループ</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  所長 中村 善光 </div> <div style="text-align: center;">  普及課長 大里 達朗 (産地育成チーム) </div> <div style="text-align: center;">  普及課長 伊藤 勝浩 (担い手育成チーム) </div> <div style="text-align: center;">  普及課長 三熊 有孝 (農村活性化チーム) </div> </div>				
	チーム長	メンバー			
<p>①担い手育成チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の育成 ・水田農業を担う農業法人の育成 	 上席農業普及員 富永 朋之 (作物)	 農業普及員 一沢 あゆみ (担い手育成・新規就農・経営)	 農業普及員 小岩 央幸 (集落営農・作物)		
<p>②産地育成チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほうれんそうビジョン推進による産地形成 ・大家畜経営の安定 	 上席農業普及員 安藤 義一 (園芸全般・農福連携)	 (新)主査農業普及員 宮川 英幸 (葉根菜類)	 主任農業普及員 高橋 修 (環境保全型農業・GAP)	 技師 佐藤 恵梨子 (果菜・山菜・土壌診断)	 (新採用)技師 鉦形 幸平 (菌床しいたけ・情報)
<p>③農村活性化チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリビジネスの推進 ・食文化を活かした地域活性化 	 上席農業普及員 土田 泰輔 (起業・6次産業化)	 主任農業普及員 山本 明日香 (食文化・女性組織)	 農業普及員 菊池 紘子 (産直・花き)	 技師 千田 聡実 (果樹)	



今年度の転入者（2名）の自己紹介



【①名前 ②出身地 ③担当 ④前任地 ⑤ひとこと】

- ① 宮川 英幸（みやかわ ひでゆき）
- ② 軽米町
- ③ 産地育成チーム（葉根菜類）
- ④ 宮古農林振興センター
- ⑤ 10年ぶりの普及センター勤務となります。ほうれんそうの品種は、10年前とかなり様変わりしていますが、1日でも早くブランクを取り戻し、農家の皆様とともに活動していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

- ① 鎌形 幸平（くわがた こうへい）
- ② 盛岡市
- ③ 産地育成チーム（菌床しいたけ・情報）
- ④ 新採用
- ⑤ 盛岡市役所の一般事務職から転職してきました。農業改良普及センターの職員として、日々、知識・技術を勉強し、皆様の笑顔のため、頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

☆人事異動情報☆

今回の人事異動に伴い久慈農業改良普及センターから転出した職員及び転出先は下記のとおりです。

- ▶ 武田 純子（在職4年間） 岩手県農業研究センター環境部病理昆虫研究室（北上市）
- ▶ 田口 礼人（在職4年間） 県庁農業振興課（盛岡市）
- ▶ 半田 翔也（在職3年間） 県庁団体指導課（盛岡市）



facebook 近日公開！

久慈農業改良普及センターfacebook

近日公開予定！

久慈寒次郎が、最新の情報や、HOTな情報をお届けします。
お楽しみに！

久慈農業改良普及センターfacebook

検索



久慈地方寒締めほうれんそう
イメージキャラクター

くじかんじろう
久慈寒次郎



春の農作業安全月間

<平成30年度スローガン>

4月15日～6月15日

農作業 ところどころのゆとりで 事故防止



○家庭での安全管理の徹底

事故防止には、日常の『声かけ』が大切です。皆で事故に気をつけていくために、家族や近所の人にもと声を掛け合っていきましょう。また、いざ巻き込まれた時のために、家族など周りの人にエンジンの止め方を教えておくことも大切です。

○農業機械の始業前点検

作業を行う前に農業機械の点検は行いましたか？整備不良の機械での作業はとても危険です。定期的に点検することを習慣づけましょう。また、事故防止のために反射材や安全フレームを装着しましょう。

○作業環境の整備の徹底

トラクターや管理機での作業は、ほ場のまわりの段差やぬかるみ、周りに人がいないかなどを確認してから行いましょう。トラクターの運転に慣れていても作業中に転落して事故を起こしています。日頃から転落や巻き込まれに注意していきましょう。

○野焼きは準備と注意を十分に

春は空気が乾燥し、野焼きからの延焼・火災が発生しやすい季節です。野焼きする際は周囲をよく確認し、準備を十分に行いましょう。また、「火から離れて他の作業をしない」といった基本を守りましょう。



農薬の適正使用について



1 農薬の使用前には、以下の内容について確認しましょう！

- ・使える作物名・希釈倍率・使用量・使用時期・使用回数・使用方法
- ・注意事項の熟読、必要な場合は防護装備の装着（保護メガネ、手袋、マスクなど）

2 農薬の使用後には、散布機の洗浄と記帳をしましょう！

- ・散布機の使用後は、ただちに洗浄しましょう。
- ・使用した農薬名、日時、作物名、濃度や量などの生産履歴を記帳しましょう。記帳することで使用回数や収穫できる日数の確認が可能となり、また使用基準を守っていることの証明になります。

